

令和5年度廿日市市地域包括支援センター事業報告

1 総括事項

地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定や保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するため、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント業務などを実施した。

(1) 設置

ア 廿日市市地域包括支援センター 5か所

センター名		住 所
直 営	はつかいち西部	地御前一丁目3番28号 (多世代サポートセンター2階)
	さいき	津田1989番地 (佐伯支所1階)
	おおの	大野一丁目1番1号 (大野支所1階)
委 託	はつかいち東部 【社会福祉法人西中国 キリスト教社会事業団】	新宮一丁目13番1号 (山崎本社みんなのあいプラザ3階)
	はつかいち中部 【医療法人みやうち】	宮内4286番地1

イ 地域高齢者総合相談窓口 2か所

ブランチ名		住 所
直 営	ブランチ吉和	吉和1886番地 (吉和支所 市民福祉係)
委 託	ブランチ宮島 【社会福祉法人いもせ聚楽会】	宮島町960番地2 (いもせ聚楽会宮島事務所)

(2) 職員配置 (令和6年3月時点)

【直営】

(人)

センター名	三 職 種	介護予防支援員	その他	合計
地域包括支援センター	所長(保健師) 1			1
はつかいち 西部	保健師 1 社会福祉士 1 ★主任介護支援専門員 1	社会福祉士 1 看護師 1 介護支援専門員 2	認知症地域支援推進員 1 一般事務補助員 1	9
さいき	保健師 1 主任介護支援専門員 1 社会福祉士 1	保健師 1 社会福祉士 1 介護支援専門員 1	認知症地域支援推進員 1 一般事務補助員 1	8
おおの	保健師 1 ★社会福祉士 1 ★主任介護支援専門員 1	保健師 1 社会福祉士 1 看護師 1 介護支援専門員 3	認知症地域支援推進員 1 一般事務補助員 1	11
合 計	10	13	6	29

(★) は市内法人からの客員スタッフ

【委託】

センター名	三 職 種	介護予防支援員	その他	合計
はつかいち 東部	所長(注) (1) 保健師 1 主任介護支援専門員 1 社会福祉士 2	保健師 2 社会福祉士 1 介護支援専門員 1	一般事務補助員 1	9
はつかいち 中部	所長(注) (1) 保健師 1 主任介護支援専門員 1 社会福祉士 1	保健師 2 社会福祉士 1 主任介護支援専門員 1 介護支援専門員 1	一般事務補助員 1	9

(注) 所長は主任介護支援専門員を兼ねる。

※ 委託包括の認知症地域支援推進員は地域包括ケア推進課で雇用し、東部及び中部担当として各1名配置。

2 事業報告

(1) 総合相談支援事業

ア 地域包括支援センター総合相談支援業務

高齢者等に関する様々な相談を受け止め、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローするとともに、関係機関との連携によって必要な支援を行った。

相談者は「本人」が最も多く全体の43.1%であった。次いで「事業所・施設」からの相談が15.5%、「家族・親族」からの相談が13.4%となっている。

(7) 相談支援延件数 (件)

年 度		令和3年度	令和4年度	令和5年度
電話相談		23,196	27,048	28,700
面接相談	来所	3,589	3,526	3,977
	訪問	9,246	11,552	13,032
文書・FAX・出先等		1,111	1,237	973
合 計		37,142	43,363	46,682

(i) 令和5年度センター別相談支援延件数 (件)

センター名		東部	中部	西部	さいき	おおの
電話相談		6,186	5,584	4,522	4,281	8,127
面接相談	来所	957	553	728	588	1,151
	訪問	2,708	2,474	1,927	1,863	4,060
文書・FAX・出先等		181	56	211	346	179
合 計		10,032	8,667	7,388	7,078	13,517
新規実件数		679	319	350	177	570

(ウ) 実態把握延件数 (件)

センター名		東部	中部	西部	さいき	おおの
電 話		232	219	94	319	601
訪 問		145	228	251	305	475
合 計		377	447	345	624	1,076

イ 相談内容

相談内容は、「介護」「心身・生活」に関する事、次いで「医療」の相談が多くなっている。はつかいち西部では「認知症」に関する事での相談が多い。

(別紙1参照)

ウ ブランチ業務（吉和、宮島地域）

管轄する地域包括支援センターの地域窓口として、総合相談や実態把握を行い、地域包括支援センターと連携をとりながら支援を行った。

(ア) 相談支援延件数 (件)

年 度		令和3年度	令和4年度	令和5年度
電話相談		45	57	40
面接相談	来所	18	19	33
	訪問	113	77	92
合 計		176	153	165

(イ) 令和5年度ブランチ別相談支援延件数 (件)

ブランチ名		吉和	宮島
電話相談		9	31
面接相談	来所	13	20
	訪問	0	92
合 計		22	143

(ウ) 令和5年度ブランチ別実態把握延件数 (件)

ブランチ名	吉和	宮島
合 計	257	140

エ 医療との連携

医療機関が主催する退院時カンファレンスに参加し、対象者の状態を共有し、安心して在宅生活を送るために必要支援等を協議した。

退院時カンファレンス出席件数 (件)

センター名	東部	中部	西部	さいき	おおの
出席件数	3	17	9	6	14

※ 東部については、ケアマネとして担当していない場合のみ計上。

(2) 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業

ア 介護予防支援事業【介護サービス事業勘定】

地域包括支援センターでは、指定介護予防支援事業者として、要支援者（要支援1・要支援2に認定された方）の介護予防支援のケアプランを作成した。

(ア) プラン作成件数 (件)

年 度		令和3年度	令和4年度	令和5年度
作成件数		14,608	15,181	15,277
内 訳	地域包括支援センター 実施分	5,966 (40.8%)	6,807 (44.8%)	7,005 (45.9%)
	(委託)居宅介支援事業所 実施分	8,642 (59.2%)	8,374 (55.2%)	8,272 (54.1%)

(イ) 令和5年度センター別プラン作成件数 (件)

センター名		東部	中部	西部	さいき	おおの
作成件数		3,454	3,038	2,793	2,079	3,913
内 訳	地域包括支援センター 実施分	1,523 (44.1%)	1,534 (50.5%)	811 (29.0%)	1,183 (56.9%)	1,954 (49.9%)
	(委託)居宅介支援事業所 実施分	1,931 (55.9%)	1,504 (49.5%)	1,982 (71.0%)	896 (43.1%)	1,959 (50.1%)

イ 介護予防ケアマネジメント事業（介護予防・日常生活支援総合事業）【介護保険事業勘定】

基本チェックリストやアセスメントを実施した結果、支援が必要な人（事業対象者）及び要支援認定者の自立支援を目的にケアプラン作成等を行った。

(ア) プラン作成件数 (件)

年 度		令和3年度	令和4年度	令和5年度
作成件数		5,938	5,891	7,077
内 訳	地域包括支援センター 実施分	2,797 (47.1%)	3,021 (51.3%)	4,211 (59.5%)
	(委託)居宅介支援事業所 実施分	3,141 (52.9%)	2,870 (48.7%)	2,866 (40.5%)

(イ) 令和5年度センター別プラン作成件数

(件)

センター名		東部	中部	西部	さいき	おおの
作成件数		1,455	1,208	1,657	919	1,838
内 訳	地域包括支援センター 実施分	785 (54.0%)	654 (54.1%)	804 (48.5%)	725 (78.9%)	1,243 (67.6%)
	(委託)居宅介支援事業所 実施分	670 (46.0%)	554 (45.9%)	853 (51.5%)	194 (21.1%)	595 (32.4%)

※ ケアプラン種別ごとの作成件数の年次推移

(件)

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年度
介護予防支援	14,608	15,181	15,277	+96
介護予防ケアマネジメント	5,938	5,891	7,077	+1,186
合 計	20,546	21,072	22,354	+1,282

(3) 権利擁護事業

ア 高齢者虐待対応

虐待の通告があった場合は、高齢者虐待防止法に基づき、速やかにその高齢者の状況を把握し、介入の緊急性、介護保険サービスによる介入方法、分離の必要性等の対応方法を関係課とコア会議を実施し、計画的に支援を行った。

虐待認定した14件のうち7件は、施設入所等につなげることにより虐待者との分離を図った、または虐待者及び被虐待者ともに適切な支援につながった等の理由により支援が終了した。

(7) 虐待対応件数 (件)

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
虐待通告件数	42	49	52
うち虐待認定件数	11	20	14

(イ) 令和5年度センター別虐待対応件数 (件)

センター名	東部	中部	西部	さいき	おおの
虐待通告件数	15	12	11	9	5
うち虐待認定件数	2	6	1	5	0

イ 判断能力が低下した状況にある人への支援など

認知症等で判断能力が十分でない人の財産管理や生活に配慮する身上保護に関する相談を受け付け、成年後見人制度等の説明や親族申立ての支援を行ったり、本人が自ら契約行為ができる場合には「かけはし」（福祉サービス利用援助事業）へつなぐ等の支援を行った。

また、親族等による申立てができない場合には市長申立てを行った。

(件)

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
成年後見に関する相談	45	93	117
うち市長申立て	6	3	6

ウ 高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議

高齢者並びに障がい者虐待の早期発見・早期対応及び防止を推進することを目的として、20団体で構成する高齢者虐待防止ネットワークを設置している。

令和5年8月21日（月）に会議を開催し、虐待集計結果と対応報告、8050問題から虐待につながるリスクが高いという課題に対して意見交換を行った。行政は縦割りであるが、多機関で連携して支援することの必要性や早い段階から関わる人を増やしておくこと、認知症の理解促進等の意見が出された。

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

在宅・施設を通じた地域における多職種相互の協働等により、連携を図りながら支援を行うためのネットワークづくりに取り組んだ。また、各居宅介護支援専門員の資質向上のための研修、連絡会、情報交換等を行った。

ア 介護支援専門員支援事業

会議名	回数	実施内容																																																									
廿日市市居宅介護支援事業所連絡会 (参加人数 80人)	1回	令和5年7月25日 (火) <ul style="list-style-type: none"> ・感染症 (結核) に関する最新情報について ・避難行動要支援者の個別避難計画について ・廿日市市地域包括支援センター業務継続計画 (BCP) について ・障害福祉制度について ・つながるポケットについて ・ケアプラン点検について 																																																									
廿日市市居宅介護支援専門員研修 (参加延人数259人)	5回	①令和5年4月20日 (木) 「スーパービジョン技法の習得に向けて③」 (31人) ②令和5年6月16日 (金) 「スーパービジョン技法の習得に向けて④」 (33人) ③令和5年8月22日 (火) 「事例検討会」 (47人) ④令和5年9月15日 (金) 「ケアを止めるな! Part2 事業所連携を見据えたBCP策定について」 (45人) ⑤令和6年3月26日 (火) 「介護報酬改定の動向とポイント」 (103人)																																																									
介護支援専門員への支援	延件数 1,728 件	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="7"></th> <th colspan="2">(件)</th> </tr> <tr> <th>センター名</th> <th>困難事例</th> <th>ナビゲーション会議 (委託)</th> <th>ケアプラン内容</th> <th>ケース会議 (居宅主催)</th> <th>同行訪問</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>50</td> <td>234</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>20</td> <td>28</td> <td>339</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>67</td> <td>169</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>14</td> <td>22</td> <td>278</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>104</td> <td>240</td> <td>41</td> <td>0</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>435</td> </tr> <tr> <td>さいき</td> <td>27</td> <td>67</td> <td>34</td> <td>1</td> <td>25</td> <td>17</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>おおの</td> <td>39</td> <td>253</td> <td>27</td> <td>2</td> <td>114</td> <td>55</td> <td>490</td> </tr> </tbody> </table>								(件)		センター名	困難事例	ナビゲーション会議 (委託)	ケアプラン内容	ケース会議 (居宅主催)	同行訪問	その他	合計	東部	50	234	3	4	20	28	339	中部	67	169	4	2	14	22	278	西部	104	240	41	0	26	24	435	さいき	27	67	34	1	25	17	171	おおの	39	253	27	2	114	55	490
							(件)																																																				
センター名	困難事例	ナビゲーション会議 (委託)	ケアプラン内容	ケース会議 (居宅主催)	同行訪問	その他	合計																																																				
東部	50	234	3	4	20	28	339																																																				
中部	67	169	4	2	14	22	278																																																				
西部	104	240	41	0	26	24	435																																																				
さいき	27	67	34	1	25	17	171																																																				
おおの	39	253	27	2	114	55	490																																																				

イ 関係機関とのネットワークづくり

会議名	回数	実施内容
福祉用具事業所と居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの連絡会 (参加人数 86人)	1回	令和5年10月20日(金) ・「高齢者が安心して生活できる住宅改修や環境整備について」 講師：(株)HAPROT 代表取締役 満元 貴治 さん
廿日市市高齢者虐待防止・権利擁護研修 (参加人数 18人)	1回	令和6年2月28日(水) ・「高齢者虐待対応帳票の活用について」 講師：まつたに社会福祉士事務所 松谷 恵子 さん ・グループワーク
障害福祉分野と高齢分野との連絡会 (参加人数 50人)	1回	令和6年1月22日(月) ・「発達障害の支援について」 講師：一般社団法人 広島学びのサポートセンター 橋 恵 さん ・グループワーク
在宅医療・介護関係職種連絡会 (参加人数 44人)	1回	令和6年3月12日(火) ・「8050問題における多様な支援を考える」 ～ひきこもり相談支援と8050問題の事例を通して～ 講師：広島ひきこもり相談支援センター 齊藤 圭子 さん ・グループワーク
高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議 (参加人数 30人)	1回	令和5年8月21日(月) ・令和4年度障がい者虐待、高齢者虐待の対応状況の報告 ・令和5年度廿日市市の高齢者・障がい者虐待防止に向けた取組 ・意見交換「在宅での虐待予防の視点について」
民生委員児童委員協議会定例会	毎月	高齢福祉・介護保険情報提供、個別相談対応
認知症関係会議	9回	・認知症高齢者支援会議 (6回) ・はつかいち見守り安心ネットワーク会議 (1回) ・キャラバン・メイト連絡協議会 (2回)

ウ 地域包括支援センター連絡会等

会議名	回数	実施内容
連絡会	4回	①令和5年5月18日（木） ・BCPについて ・防災について「水害から命を守るために 自助・共助」 ②令和5年11月27日（月） ・認知症等高齢者の意志決定支援について ③令和5年12月19日（火） ・廿日市市短期集中型訪問サービスについて ④令和6年2月21日（水） ・栄養に関するアセスメントの視点について
所長会議	毎月	・地域包括支援センターの業務について ・地域ケア会議について ・重層的支援体制整備支援事業について ・包括運営での疑問、近況報告等について ・生活支援体制整備事業について
保健師部会	毎月	・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について ・百歳体操について ・まめでいきいき元気教室について ・在宅医療・介護関係職種連絡会について ・短期集中型訪問サービスについて
社会福祉士部会	毎月	・給付管理について ・廿日市市成年後見制度利用マニュアルについて ・廿日市市高齢者虐待マニュアルについて ・高齢者虐待防止に関する取組について（研修・広報等）
主任ケアマネ部会	毎月	・介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務について ・自立支援型個別ケア会議について ・関係機関連絡会及び研修会について
認知症地域支援推進員部会	毎月	・もの忘れ相談会について ・のうKNOWの活用について ・認知症啓発イベントについて ・すずらんの会について

エ 地域ケア会議

地域の課題を発見し、支援のネットワークづくりを行うため、民生委員等の地域の関係者や行政、社会福祉協議会、医療関係者、居宅介護支援事業所等が集まり、情報共有、地域の生活課題の検討、事例検討等を行った。また、複雑な課題を抱える個別事例については、本人や家族、ケアマネジャー、民生委員等の関係者が集まり、課題解決に向けて協議をした。

圏 域	会 議 名	回 数	ケア会議の機能(※)
廿日市東部	・地域ケア会議（個別）	3回	①
	・地域ケア会議（定例）	7回	② ③
	・自立支援型個別ケア会議	1回	① ②
廿日市中部	・地域ケア会議（個別）	13回	①
	・地域ケア会議（定例）	15回	② ③
	・自立支援型個別ケア会議	1回	① ②
廿日市西部	・地域ケア会議（個別）	11回	①
	・地域ケア会議（定例）	6回	② ③ ④
	・自立支援型個別ケア会議	1回	① ②
佐 伯	・地域ケア会議（個別）	7回	① ②
	・地域ケア会議（定例）	7回	① ② ③
	・自立支援型個別ケア会議	1回	① ② ③
吉 和	・地域ケア会議（定例・個別）	12回	① ②
大 野	・地域ケア会議（個別）	11回	① ②
	・地域ケア会議（定例）	9回	② ③
	・自立支援型個別ケア会議	1回	① ②
宮 島	・地域ケア会議（定例・個別）	17回	① ② ③ ④

※ ①個別課題の解決 ②地域包括支援ネットワークの構築 ③地域課題の発見 ④地域づくり・資源開発

オ ちょっとひと息医療とふくしの相談室

NPO法人廿日市市五師士会と共催で、地域の高齢者のため専門職と行政及び地域のネットワークの体制づくりを目的として、市民センター等8ヶ所で実施した。

(回・人)

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
回 数	2	7	8
延来場者数	40	113	194
延相談者数	29	50	76

カ 地域での活動等

地域のサロンや老人クラブ等で介護予防に関する情報提供を行い、いきいき百歳体操の普及活動として出前講座を実施した。また、「やすらぎ支援員養成講座」、「認知症サポーター養成研修」、「甘らつプラチナボランティア養成講座」の講師として協力した。

(回・人)

種類	センター名	内 容	回数	参加者数
出前講座	東 部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度の説明とサービス利用の流れ ・ 高齢者福祉サービス ・ 生活不活発病、フレイル ・ 熱中症、ヒートショック ・ 人生会議、もしバナカード 等 	14	492
	中 部		9	193
	西 部		4	99
	さいき		15	292
	おおの		2	154
	計		44	1,230
百歳体操	東 部	【プレゼン】 通いの場づくりの意義、百歳体操の紹介・実技	5	103
	中 部	【初 回】 体力測定、百歳体操簡易版体験、生活不活発病の話	24	137
	西 部	【3 ヶ月後】 体力測定、口腔フレイル予防、かみかみ百歳体操	19	315
	さいき	【6 ヶ月後】 体力測定、栄養の話、スペシャル版体験 【1 年後】 体力測定、介護予防の話、しゃきしゃき百歳体操、認知症予防	7	89
	おおの	【1 年半後】 体力測定、これから手帳の話、いきいき百歳体操簡易版	24	565
	計		79	1,209
認知症	東 部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の基本的理解と対応について ・ 認知症サポーター養成講座 ・ 認知症サポーターステップアップ講座 ・ もの忘れ相談会 等 	6	109
	中 部		21	245
	西 部		11	116
	さいき		35	559
	おおの		22	577
	計		95	1,606

(5) 認知症施策推進事業

ア 認知症地域支援推進員の活動

地域包括支援センターに1名ずつ配置。認知症の人やその家族を支援する相談業務や、地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ連携支援等を行った。

(人・件)

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談実人数	588	804	815
訪問延件数	1,083	1,230	1,186
相談延件数	2,230	3,844	2,425

イ 認知症初期集中支援チームとの連携

認知症初期集中支援チームは、医療法人みやうち（廿日市野村病院）に委託して実施しており、認知症又はその疑いがある人や家族を専門職が訪問し、アセスメントや家族支援など包括的・集中的に行っている。

認知症地域支援推進員は、月1回のチーム員会議に出席し、情報共有を図りながら、自立生活の支援を行った。

ウ もの忘れ相談会

もの忘れや認知症の不安を持つ人やその家族等が早期に相談をし、適切な支援につながるよう、令和4年9月から地域包括支援センターを相談会場として「もの忘れ相談会」を実施している。令和5年度は、より気軽に相談できる環境として、市民センターや商業施設等でも開催した。

(回・人)

年 度	令和4年度	令和5年度
実施回数	38	58
相談者数	25	89

エ すずらんの会（本人ミーティング）

認知症の当事者が自らの体験を語る場として、「すずらんの会」を不定期に開催した。主には若年性認知症の人や家族が集まり、それぞれの思いを語り合った。2回目以降は当事者自らが考案した内容で開催した。

開催日	参加者	内 容
令和5年8月31日（木）	当事者1名、家族2名	自己紹介
令和6年1月31日（水）	当事者3名、家族3名	詩吟披露、フリートーク
令和6年3月13日（水）	当事者3名、家族2名	ストレッチ&ウォーキング

3 決算に関する事項

(1) 直営（はつかいち西部、さいき、おおの）

令和5年度 地域包括支援センター運営事業決算状況

歳 出

(単位：円)

款	項	目	事業	令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年比
				①	②	①-②
3 民生費	1 社会福祉費	2 老人福祉費	31 職員給与費	69,021,203	62,529,412	6,491,791
			02 給料	35,551,700	32,658,000	2,893,700
			03 職員手当	21,880,109	18,898,014	2,982,095
			04 共済費	11,589,394	10,973,398	615,996
			31 退職者手当負担金	5,528,691	4,738,405	790,286
			18 負担金、補助及び交付金	5,528,691	4,738,405	790,286
人件費 合計				74,549,894	67,267,817	7,282,077
3 民生費	1 社会福祉費	2 老人福祉費	32 地域包括支援センター運営事業	124,635,295	121,615,801	3,019,494
			01 報酬	9,734,918	11,501,139	△ 1,766,221
			02 給料	9,278,400	2,769,600	6,508,800
			03 職員手当等	4,257,684	2,520,460	1,737,224
			04 共済費	3,649,119	2,655,160	993,959
			07 報償費	189,280	148,900	40,380
			08 旅費	463,903	409,385	54,518
			10 需用費	1,831,421	1,511,386	320,035
			11 役務費	1,698,491	1,712,790	△ 14,299
			12 委託料	73,274,453	75,769,141	△ 2,494,688
			13 使用料及び賃借料	5,066,339	3,486,773	1,579,566
			18 備品購入費	1,091,860	980,980	110,880
			19 負担金、補助及び交付金	14,059,327	18,136,387	△ 4,077,060
27 公課費	40,100	13,700	26,400			
歳出合計				124,635,295	121,615,801	3,019,494
総計				199,185,189	188,883,618	10,301,571

令和5年度 介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算状況

歳 入

(単位：円)

款	項	目	令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年比
			①	②	①-②
01 サービス収入	01 介護予防マネジメント収入	01 介護予防マネジメント収入	40,512,124	41,554,633	△ 1,042,509
02 繰越金	01 繰越金	01 繰越金	2,536,711	1,573,067	963,644
03 諸収入	01 雑入	01 雑入	68,627	76,794	△ 8,167
歳入合計			43,117,462	43,204,494	△ 87,032

歳 出

(単位：円)

款	項	目	令和5年度決算額	令和4年度決算額	対前年比
			①	②	①-②
01 事業費	01 介護予防支援事業費	01 介護予防支援事業費	36,374,817	36,477,783	△ 102,966
02 諸支出金	01 重層的支援体制整備事業繰出金	01 重層的支援体制整備事業繰出金	5,348,000	4,190,000	1,158,000
歳出合計			41,722,817	40,667,783	1,055,034

(2) 委託

令和5年度 地域包括支援センターはつかいち東部 運営業務委託収支報告書

(単位：円)

科 目		センター全体	うち包括的 支援事業	うち介護報酬	
収入合計(B)		56,694,510	34,110,107	22,584,403	
項 目	委託料	34,100,000	34,100,000		
	介護報酬(介護予防支援)	15,842,753		15,842,753	
	介護報酬(介護予防ケアマネジメント)	6,741,650		6,741,650	
	その他	10,107	10,107	0	
支出合計(A)		53,963,963	31,379,560	22,584,403	
項 目	人件費	人件費計	40,071,977	28,382,741	11,689,236
		職員俸給	31,113,214	21,627,487	9,485,727
		職員諸手当	4,578,499	3,491,832	1,086,667
		共済費	4,380,264	3,263,422	1,116,842
	運営費	物件費計	13,891,986	2,996,819	10,895,167
		報償費	0	0	0
		旅費	600	600	0
		消耗品費	143,783	143,783	0
		燃料費	108,106	108,106	0
		印刷製本費	0	0	0
		光熱水費	0	0	0
		修繕費	0	0	0
		郵便料	50,584	50,584	0
		通信運搬費	406,943	406,943	0
		保険料	269,233	269,233	0
		業務委託料	0	0	0
		予防支援・ケアマネ業務委託費	10,895,167		10,895,167
		事務所賃借料	0	0	0
		その他賃借料	1,284,360	1,284,360	0
		備品購入費	79,600	79,600	0
負担金	41,700	41,700	0		
その他	611,910	611,910	0		
収支(B-A)		2,730,547	2,730,547	0	

令和5年度 地域包括支援センターはつかいち中部 運営業務委託収支報告書

(単位：円)

科 目		センター全体	うち包括的 支援事業	うち介護報酬	
収入合計(B)		55,442,343	35,902,010	19,540,333	
項目	委託料	35,900,000	35,900,000		
	介護報酬(介護予防支援)	13,938,929		13,938,929	
	介護報酬(介護予防ケアマネジメント)	5,601,404		5,601,404	
	その他	2,010	2,010	0	
支出合計(A)		55,479,851	35,932,811	19,547,040	
項目	人件費	人件費計	38,810,749	27,616,163	11,194,586
		職員俸給	32,079,109	22,776,167	9,302,942
		職員諸手当	678,480	481,721	196,759
		共済費	6,053,160	4,358,275	1,694,885
	運営費	物件費計	16,669,102	8,316,648	8,352,454
		報償費	0	0	0
		旅費	35,337	35,337	0
		消耗品費	669,692	669,692	0
		燃料費	185,589	185,589	0
		印刷製本費	424,044	424,044	0
		光熱水費	345,018	345,018	0
		修繕費	1,806,488	1,806,488	0
		郵便料	59,880	59,880	0
		通信運搬費	821,872	821,872	0
		保険料	67,892	67,892	0
		業務委託料	125,950	125,950	0
		予防支援・ケアマネ業務委託費	8,352,454		8,352,454
		事務所賃借料	2,179,485	2,179,485	0
		その他賃借料	819,337	819,337	0
		備品購入費	429,400	429,400	0
負担金	313,554	313,554	0		
その他	33,110	33,110	0		
収支(B-A)		△ 37,508	△ 30,801	△ 6,707	